

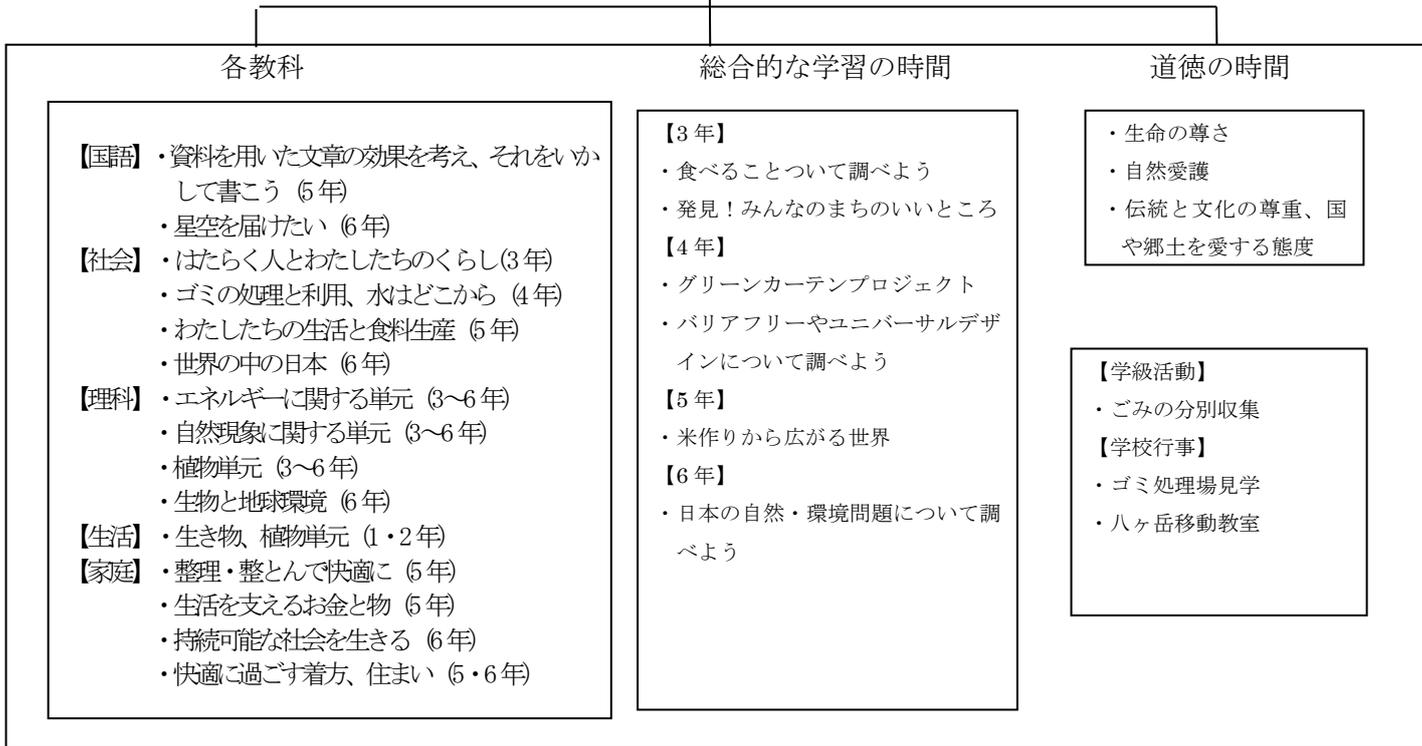
学校の環境教育の目標 多摩市気候非常事態宣言を踏まえた環境教育等の充実を図る。

目指す児童像 身近な環境や自然との関わりについて考え、より良い環境づくりに働きかける児童を育成する。

指導の重点

- 身近な環境とのふれあいから環境に関心をもつ。（関心）
- 環境への理解を深め、地域を大切に作る心を育てる。（理解）
- 環境保全やより良い環境を創造する行動力を身に付ける。（行動力）

評価の観点	低学年	中学年	高学年
関心	・植物や動物などに進んで関わり、大切にしようとする。	・地域の自然に触れ、より良い環境にしようとする。	・自然を守ることの重要性を知り、より良い環境に改善しようとする。
理解	・植物や動物の世話をし、その特徴や育て方を知ることができる。	・身近な環境の問題点について解決方法を見付けることができる。	・より良い環境の保全・改善方法を理解することができる。
行動力	・物の使い方を考え、いろいろなものを集めて遊んだり、作ったりすることができる。	・資源には限りがあることを調べ、身近なものを大切に扱うことができる。	・より良い環境づくりのための方法を考え、行動したり他に知らせたりすることができる。



【環境整備】

- ・環境コーナー、掲示板の設置
- ・学校施設の整備や緑化の推進
- ・学校内における自然環境の整備の推進

【家庭・地域との連携】

- ・地域の環境保全活動に主体的に参加する意識と行動力の育成